

■ 販売店・工事店様へのお願い

● 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
お願い	「必ず行っていただくこと」を示します。

お願い

- 商品に貼付されている注意・取扱説明のラベル等をはがさないでください。
- 商品は、建物の屋根に積もった雪が落ちない位置に取付けてください。やむを得ない場合は、建物の屋根に雪止めを取付けてください。
- シーリング指定箇所は、必ずシーリング処理をしてください。特に部材接合部は念入りにシーリング処理を行ってください。シーリング処理が十分に行われていない場合、雨漏れの原因となりますので注意してください。
- 施工の際、躯体へのコーンスクリューや木ビスは、たたき込まずに確実にねじ込んでください。また、プラグ類をモルタルやサイディング等、部分のみで固定することも大変危険ですので絶対にやめてください。
- 材料を継ぎたす等の改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 施工前に下記内容を確認してください。
 - * 根太掛け、妻笠木等を取り付ける箇所での柱、間柱、胴差しなどの有無。(壁面の下地調整の有無)
 - * 柱の基礎コンクリート打ちスペースの有無及び柱の基礎埋め込み寸法の有無。(柱建てのみ)
- 妻ばりや妻笠木をサッシ戸袋等に直接取付けることは、強度上大変危険です。必ず戸袋調整材を使用してください。
- 施工を始めてから手直しが出来ないよう、事前に調査や打ち合わせを十分に行ってください。特に設計者や工務店様と取付スペース・工程・搬入実施日・搬入場所・施工実施日等、綿密な打ち合わせをしてください。
- 製品の運搬や取付けの際は、キズをつけないように気をつけてください。また、他の工事が終了した後養生テープをはがしてください。
- この商品の勝手は、外観視 右勝手・左勝手となっております。
- 建物に取付ける部材・部品は、建物の柱・間柱・胴差し等に確実に固定してください。
- 水平・垂直・直角は、必ず正確に出してください。正確に出ないと、取り付けかない場合があります。また、十分な強度が出ない場合もあり大変危険ですので注意してください。
- 取付けの際、ボルト・ネジ等は規定本数を確実に締め付け固定してください。建物に孔をあけたりネジを止めたりした場所には、確実にシーリングを施してください。
- 木造納まり 2階以下に取り付け可能です。
- 踏み台になるような物の上に乗ると、落下の危険が生じます。特にお子様には注意してください。

● アルミ製品を他建材製品と施工する上でのご注意

新日軽のアルミ製品は、JISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異常腐蝕をおこし、思わぬトラブルとなりますので施工にあたっては次のような点にご注意ください。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● アルミ製品と 銅板やラス等 の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニルテープ等を貼るか塗装等で絶縁処理を行ってください。 ● 輸入木材 には、塩素イオン等の腐蝕成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくかアルミニウムと接触する部分は木材に塗装するようにしてください。 ● モルタル用に 海砂 を使用されますと、多量に含まれた塩分が腐蝕の原因となりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。 ● モルタルやコンクリートの 抽出液 が工事中にアルミ製品の表面に流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性であるため、しみやムラ等の外観不良や腐蝕の原因となります。 | <ul style="list-style-type: none"> ● モルタルやコンクリートの 凝結材 は腐蝕の発生や促進作用がありますので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。 ● 施工時にアルミ製品の表面に 附着 したモルタルやコンクリート等は、速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐蝕しやすくなりますので取扱いに十分注意してください。 ● 腐蝕の恐れのある 接着材や科学薬品 を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。 |
|---|---|

梱包明細

機材		関東圏1.0間	関東圏1.5間	関東圏2.0間	関西圏1.0間	関西圏1.5間	関西圏2.0間	九・四圏1.0間	九・四圏1.5間	九・四圏2.0間
		2■BY10N	2■BY15N	2■BY20N	2■BY10WN	2■BY15WN	2■BY20WN	2■BY10KN	2■BY15KN	2■BY20KN
桁	R303204/R303205	1756×1	2665×1	3574×1	1952×1	2906×1	3861×1	1847×1	2801×1	3756×1
笠木	RBD5015/R303203	1756×1	2665×1	3574×1	1952×1	2906×1	3861×1	1847×1	2801×1	3756×1
根太掛け	R303208	1826×1	2735×1	3644×1	2022×1	2976×1	3931×1	1917×1	2871×1	3826×1
笠木ジョイナー	NAB-50	2	2	2	2	2	2	2	2	2
笠木ジョイナー金具	NEB-621	2	2	2	2	2	2	2	2	2
φ4X20ナベガイド付き	GPA4X20S	4	4	4	4	4	4	4	4	4
ビスカバー	C-94	2	2	2	2	2	2	2	2	2
φ8X16ボルト	BH08X016S	3	5	7	4	6	8	4	6	8
φ8X16ボルト(十字孔付)	BN-1037	3	5	7	4	6	8	4	6	8
φ8ナット	NNA08S	3	5	7	4	6	8	4	6	8
φ8ワッシャー	ZB08S	3	5	7	4	6	8	4	6	8
銘板	MM-1133	1	1	1	1	1	1	1	1	1
注意表示ラベル	NM-1067	1	1	1	1	1	1	1	1	1

根太(関東圏)		関東 1.0間×3R	関東 1.0間×4R	関東 1.0間×5R	関東 1.0間×6R	関東 1.5間×3R	関東 1.5間×4R	関東 1.5間×5R	関東 1.5間×6R	関東 2.0間×3R	関東 2.0間×4R	関東 2.0間×5R	関東 2.0間×6R
		2■BN103N	2■BN104N	2■BN105N	2■BN106N	2■BN153N	2■BN154N	2■BN155N	2■BN156N	2■BN203N	2■BN204N	2■BN205N	2■BN206N
根太	R303401/R303402	847×3	1147×3	1447×2	1747×2	847×5	1147×5	1447×4	1747×4	847×7	1147×7	1447×6	1747×6
中央根太	R303408			1447×1	1747×1			1447×1	1747×1			1447×1	1747×1
セット部品	SB-1084-00	-01:1	-02:1	-03:1	-04:1	-05:1	-06:1	-07:1	-08:1	-09:1	-10:1	-11:1	-12:1
φ8ナット	NNA08S	3	3	3	3	5	5	5	5	7	7	7	7
φ8ワッシャー	ZB08S	3	3	3	3	5	5	5	5	7	7	7	7
φ4X13テクス	DDAP4X13S	20	25	30	35	28	35	42	49	36	45	54	63
セット部品	SK-1032-07	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
桁補強金具	EB-1134	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
φ4X12皿	ZB08S	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
φ4X13テクス	DDAP4X13S	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

根太(関西・九四圏)		関西 1.0間×3R	関西 1.0間×4R	関西 1.0間×5R	関西 1.0間×6R	関西 1.5間×3R	関西 1.5間×4R	関西 1.5間×5R	関西 1.5間×6R	関西 2.0間×3R	関西 2.0間×4R	関西 2.0間×5R	関西 2.0間×6R
		2■BN103WKN	2■BN104WKN	2■BN105WKN	2■BN106WKN	2■BN153WKN	2■BN154WKN	2■BN155WKN	2■BN156WKN	2■BN203WKN	2■BN204WKN	2■BN205WKN	2■BN206WKN
根太	R303401/R303402	847×4	1147×4	1447×2	1747×2	847×6	1147×6	1447×4	1747×4	847×8	1147×8	1447×6	1747×6
中央根太	R303408			1447×2	1747×2			1447×2	1747×2			1447×2	1747×2
セット部品	SB-1084-00	-13:1	-14:1	-15:1	-16:1	-17:1	-18:1	-19:1	-20:1	-21:1	-22:1	-23:1	-24:1
φ8ナット	NNA08S	4	4	4	4	6	6	6	6	8	8	8	8
φ8ワッシャー	ZB08S	4	4	4	4	6	6	6	6	8	8	8	8
φ4X13テクス	DDAP4X13S	28	30	36	42	32	40	48	56	40	50	60	70
セット部品	SK-1032-08	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
桁補強金具	EB-1134	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
φ4X12皿	ZB08S	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
φ4X13テクス	DDAP4X13S	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

たて格子A 前面パネル		関東圏1.0間	関東圏1.5間	関東圏2.0間	関西圏1.0間	関西圏1.5間	関西圏2.0間	九・四圏1.0間	九・四圏1.5間	九・四圏2.0間
		2■BBT10	2■BBT15	2■BBT20	2■BBT10W	2■BBT15W	2■BBT20W	2■BBT10K	2■BBT15K	2■BBT20K
アッパーレール	R303206	1755×1	1332×2	1721.5×1	1951×1	1452.5×2	1865×1	1846×1	1335×1	1812.5×1
ローレール	RBD5105	1755×1	1332×2	1721.5×1	1951×1	1452.5×2	1865×1	1846×1	1465×1	1812.5×1
たて格子	R303304	1021×13	1021×20	1021×27	1021×15	1021×22	1021×29	1021×14	1021×21	1021×29
φ4X10ナベ	1PA4X10S	26	40	54	30	44	58	28	42	58
セット部品	NSB-118-00	-40:1	-41:1	-42:1	-40:1	-41:1	-42:1	-40:1	-41:1	-42:1
φ4X13テクス	DDAP4X13S	8	12	16	8	12	16	8	12	16

たて格子A 側面パネル		3R	4R	5R	6R
		2■BBT3	2■BBT4	2■BBT5	2■BBT6
アッパーレール	R303206	829×2	1129×2	1429×2	1729×2
ローレール	RBD5105	829×2	1129×2	1429×2	1729×2
たて格子	R303304	1021×12	1021×16	1021×22	1021×26
φ4X10ナベ	1PA4X10S	24	32	44	52
セット部品	NSB-118-00	-40:1	-41:1	-42:1	-42:1
φ4X13テクス	DDAP4X13S	8	12	16	16

■ 梱包明細

柱 (柱建て)		柱建て 標準柱	柱建て 間柱
		2■B1PD	2■B1RPD
柱	R303301	5000×2	5000×1
桁受け金具	NAB-48	2	2
妻梁取付フケット	AB-1019R/L	各1	
φ8ポップナット	PN08H20A	8	6
φ8×16ボルト (十字孔付)	BN-1037	8	4
たて樋	ETC-2438-01	2	1
アンカー棒セット		SK-140-01 : 1	SK-152-02 : 1
アンカー棒	NAN-2	2	1
雨樋セット	SE-1789-00	-02 : 1	-01 : 1
落し口	ETC-1307	2	1
バッキン	BC-2658	2	1
エルボ88°	ETC-2435	2	1
固定バンドA	ETC-2436	8	4
固定バンドB	ETC-2437	8	4
落し口ジョイント	ETC-5553	2	1
たて樋ソケット	T-1005	2	1
接着剤	BC-2659	1	1
φ4X12トラス	3TB4X12S	4	2
φ4X19テクス	DDAP4X19W	8	4
取付説明書	ME-2021	1	1

柱 (屋根置き式)		屋根置き 標準柱	屋根置き 間柱
		2■B2PN	2■B2RPN
柱	R303302	1307×2	1307×1
調整柱	R303303	750×2	750×1
つか受け	R303504	950×2	950×1
桁受け金具	NAB-48	2	2
妻梁取付フケット	AB-1019R/L	各1	
φ8ポップナット	PN08H20A	8	4
φ8×16ボルト (十字孔付)	BN-1037	8	4
つか受けキャップ	NC-453	4	2
すべり止め	NWS-06	950×4	950×2
φ8X16ボルト	BH08X016S	2	1
φ8ナット	NNA08S	2	1
φ8ワッシャー	ZB08S	2	1
つか受け金具	NAB-55	2	1
セット部品	NSB-118-00	-02 : 1	-04 : 1
調整コーナー柱座金	NAB-53	1	
調整間柱用座金	AB-154		1
φ8X12ボルト	BH08X012S	2	
φ8X16ボルト	BH08X016S		2
φ8ワッシャー	ZB08S	2	2
ビスカバー	C-94	2	
φ4X13テクス	DDAP4X13S	8	4
φ4X12ナベ	2PA4X12S	4	2

奥行材		3R	4R	5R	6R
		2■BT3N	2■BT4N	2■BT5N	2■BT6N
妻笠木 R/L	RBD5015	830×各1	1130×各1	1430×各1	1730×各1
妻梁 R/L	RBC3611	825×各1	1125×各1	1425×各1	1725×各1
止水バッキン	NC-454	2	2	2	2
笠木ジョイナー	NAB-50	2	2	2	2
笠木ジョイナー金具	NEB-621	2	2	2	2
φ4X20ナベガイド付き	GPA4N20S	4	4	4	4
ビスカバー	C-94	2	2	2	2
笠木フケット	EB-1135	2	2	2	2
φ4X16トラス	2TB4X16S	4	4	4	4
セット部品	SK-1032-02	1	1	1	1
妻梁取付フケットR/L	AB-1020R/L	各1	各1	各1	各1
φ8×75コーチスクリュー	SH08X075S	4	4	4	4
φ8X16ボルト	BH08X016S	4	4	4	4
φ8ワッシャー	ZB08S	4	4	4	4
φ6×70コーチスクリュー	SH06X070S	4	4	4	4
φ6ワッシャー	ZB06S	4	4	4	4

連結根太		3R	4R	5R	6R
		2■BRN3	2■BRN4	2■BRN5	2■BRN6
連結根太	RBC3810	825×1	1125×1	1425×1	1725×1
連結根太カバー	R283408	829×1	1129×1	1429×1	1729×1
連結根太止水バッキン	NC-344	1	1	1	1
φ8ポップナット	PN08H20A	2	2	2	2
セット部品	NSK-37-00	-12 : 1	-12 : 1	-13 : 1	-13 : 1
連結目板ジョイナー	AB-244	3	3	5	5
φ5X10皿	MFB5X10S	3	3	5	5
連結根太ジョイナー	BP-620	1	1	1	1
φ8X70ボルト	BH08X070S	1	1	1	1
φ8ワッシャー	ZB08S	1	1	1	1

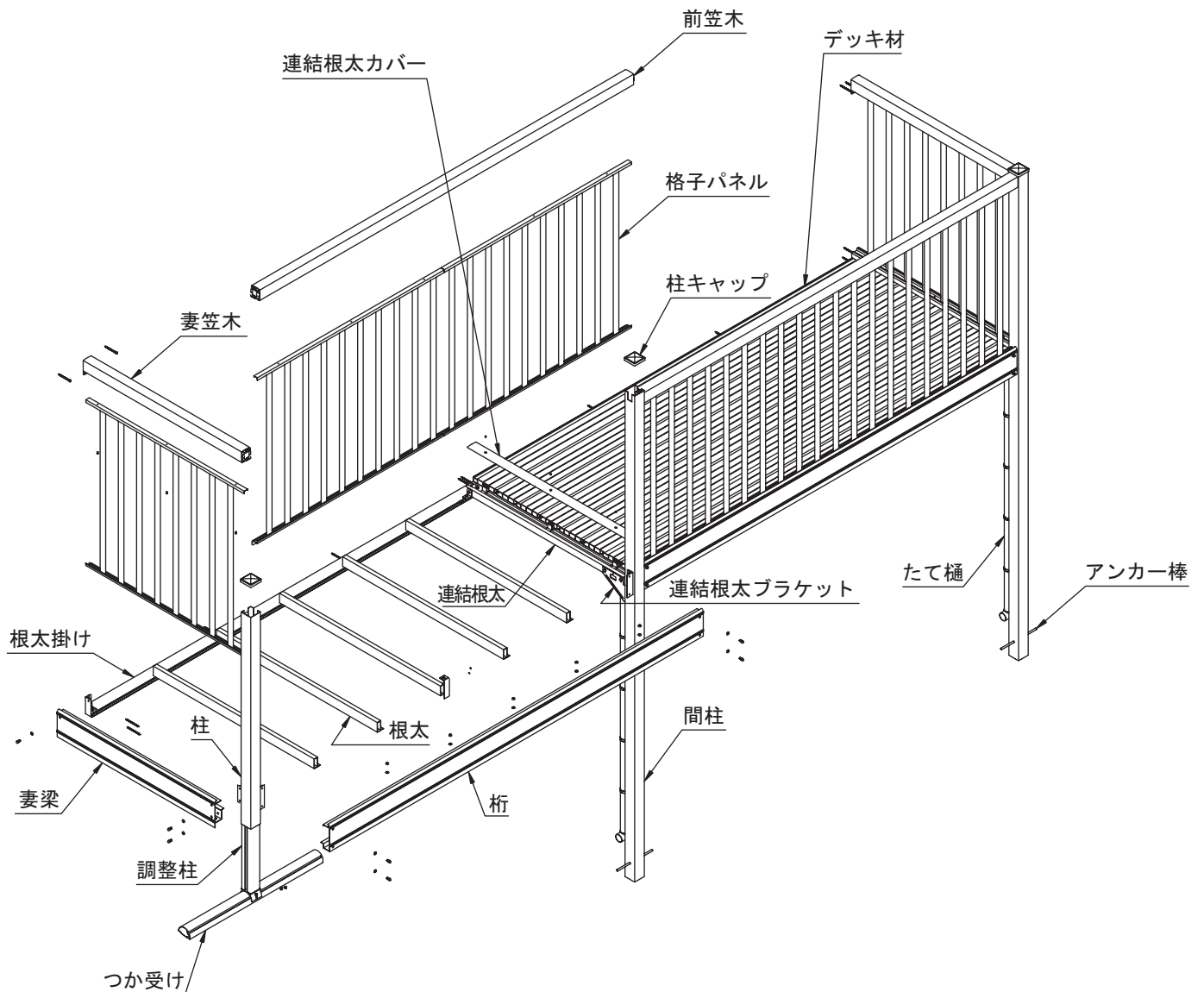
部品箱		標準部品箱	連結部品箱
		2■BBOXN	2■BRBOXN
柱キャップ	NC-451	2	1
φ8X75コーチスクリュー	SH08X075S	3	5
φ8X16ボルト	BH08X016S	10	14
φ8ナット	NNA08S		6
φ8ワッシャー	ZB08S	13	11
長孔フサギ材	C-178	2	
ソーリング材	NBC-256	1	1
取付説明書	ME-2086	1	
根太掛け金具	NAB-52		2
連結根太フケット	NEB-618		1

デッキ材 (関東圏)		関東圏 1.0間		関東圏 1.5間		関東圏 2.0間	
		■KBD10A	■KBD10B	■KBD15A	■KBD15B	■KBD20A	■KBD20B
200巾		1805×2		2715×2		3620×2	
300巾			1805×1		2715×1		3620×1

デッキ材 (関西圏)		関西圏 1.0間		関西圏 1.5間		関西圏 2.0間	
		■KBD10AW	■KBD10BW	■KBD15AW	■KBD15BW	■KBD20AW	■KBD20BW
200巾		2000×2		2955×2		3910×2	
300巾			2000×1		2955×1		3910×1

※ 九州・四国圏の場合は関西圏を切り詰めてご使用ください。

■ 部材と部品の名称



■ 組立手順

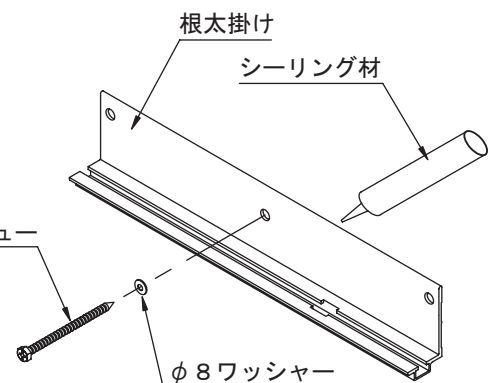
① 根太掛けの取付

1. 根太掛け取付け位置を墨出しして、根太掛けをφ8×75コーチスクリューで躯体に固定してください。

《 下孔ドリル径 》

φ8×75コーチスクリュー	φ6.5
---------------	------

φ8×75コーチスクリュー



お願い

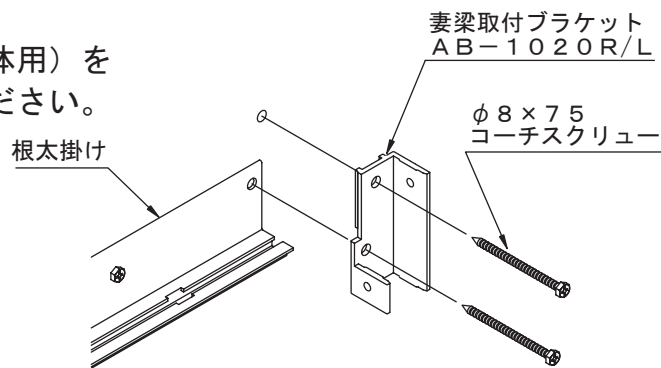
- ・コーチスクリューの下孔はφ6.5以下であけてください。
- ・コーチスクリューの下孔にはシーリング材を充填してください。
- ・根太掛けの上部にシーリング材を施してください。

② 妻梁取付ブラケットの取付け

1. 根太掛けの端部に妻梁取付ブラケット（躯体用）を $\phi 8 \times 75$ コーチスクリューで固定してください。

お願い

- ・ コーチスクリューの下孔は $\phi 6.5$ 以下であけてください。
- ・ コーチスクリューの下孔にはシーリング材を充填してください。

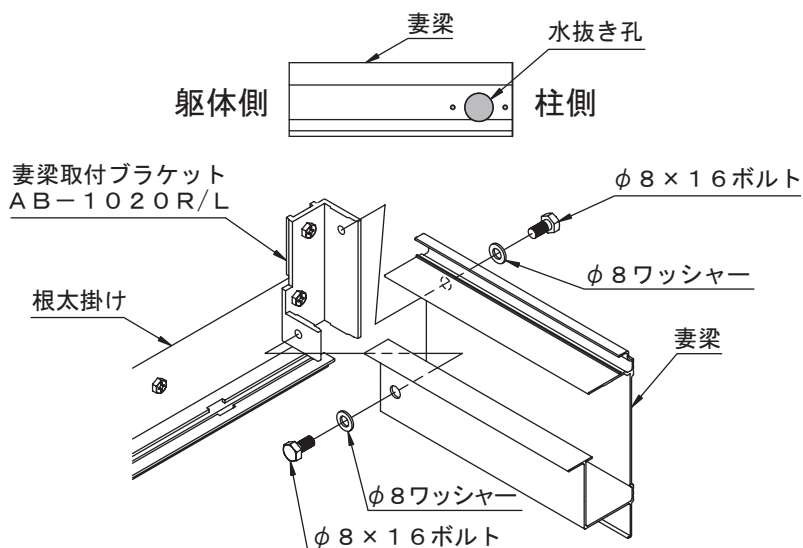


③ 柱建て式 柱の組立

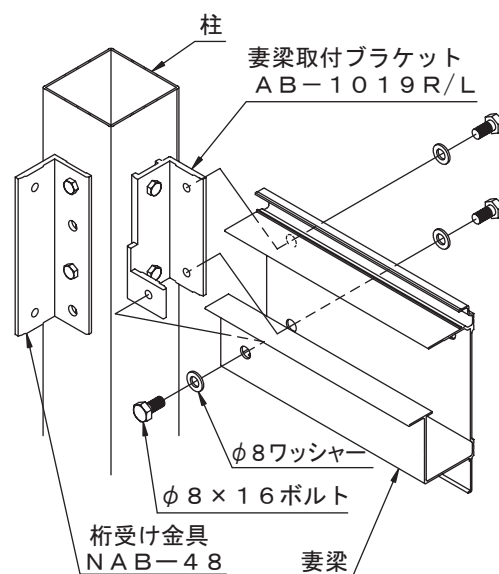
1. 妻梁（R・Lあり）を妻梁取付ブラケット（躯体側）に $\phi 8 \times 16$ 六角ボルトで固定してください。

お願い

妻梁のR・Lは水抜き孔が柱側になるように確認して取付けてください。

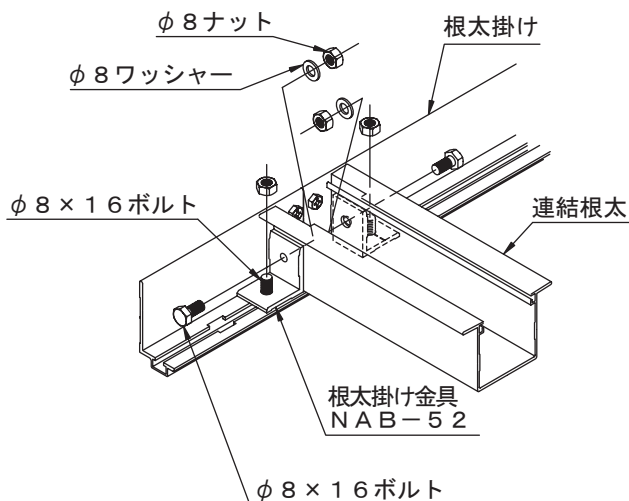


2. 妻梁の水平をみながら柱に取り付けている妻梁取付ブラケットに妻梁を差し込み、 $\phi 8 \times 16$ ボルトで固定してください。

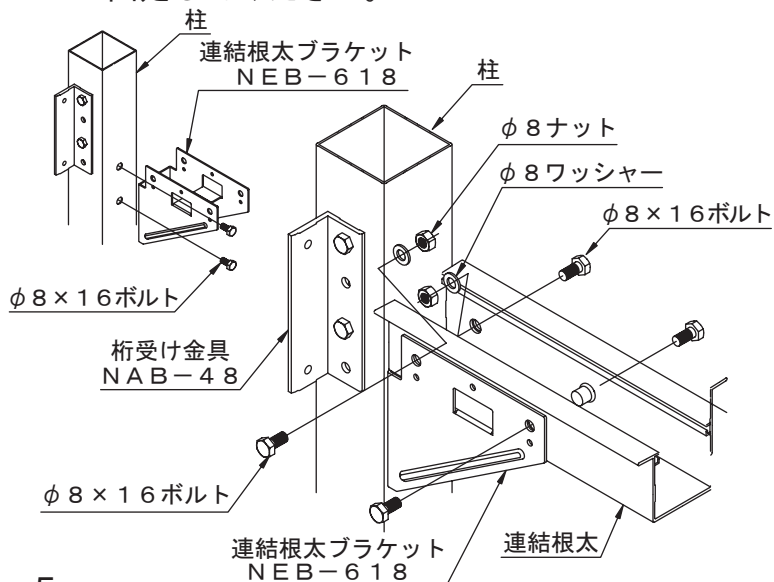


連棟の場合

3. 連棟根太を根太掛け金具、 $\phi 8 \times 16$ ボルトを使用し、根太掛けに固定してください。

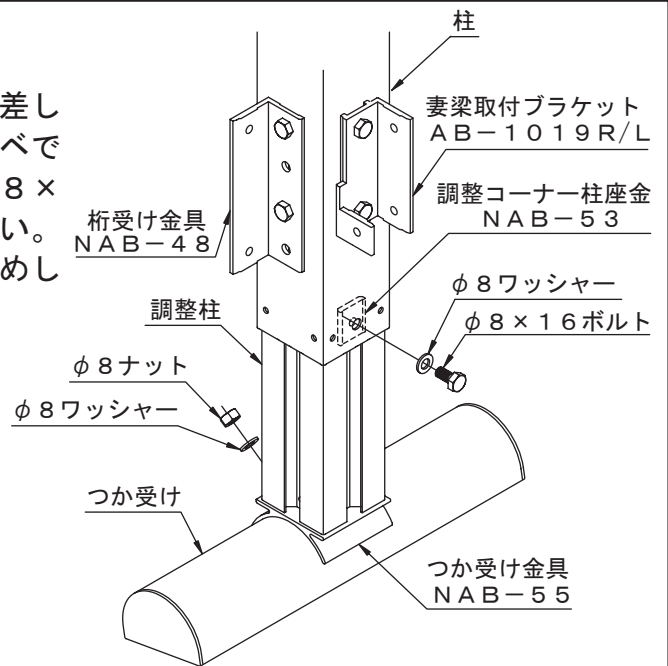
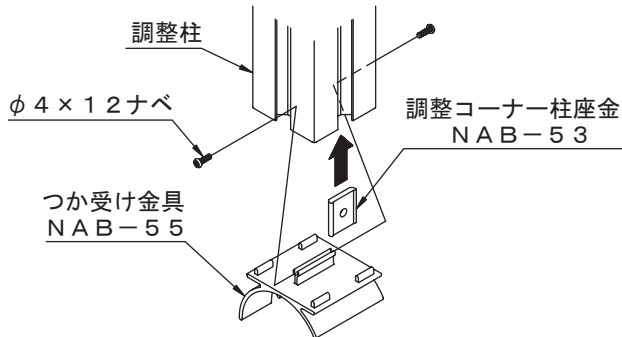


4. 柱に $\phi 8 \times 16$ ボルトで連結根太ブラケットを取り付け、連結根太を $\phi 8 \times 16$ ボルトで間柱に固定してください。

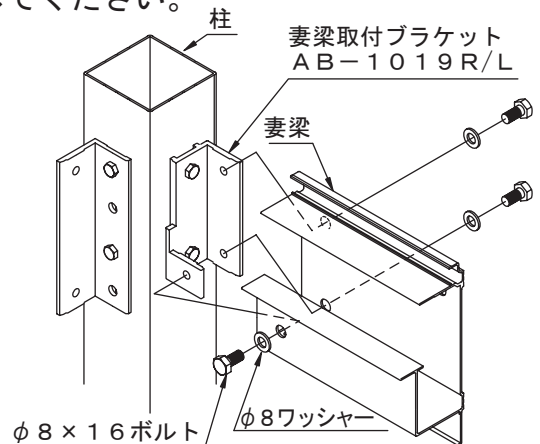
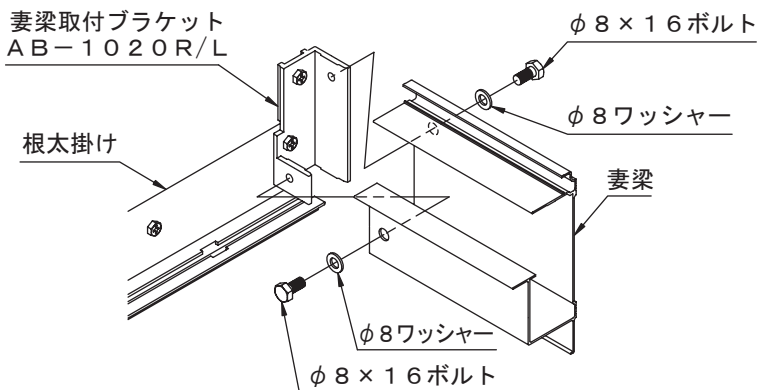


③ 屋根置き式 柱の組立

- 調整柱に調整コーナー座金とつか受け金具を差し込み、つか受け金具と調整柱をφ4×12ナベで固定してください。調整コーナー柱座金にφ8×12ボルトで柱と調整柱を仮止めしてください。つか受けにつか受け金具をM8ナットで仮止めしてください。

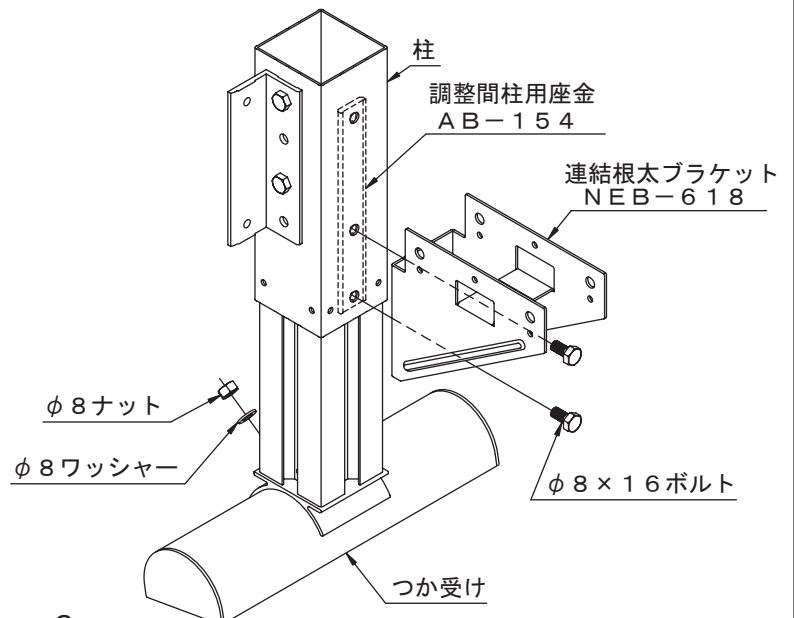
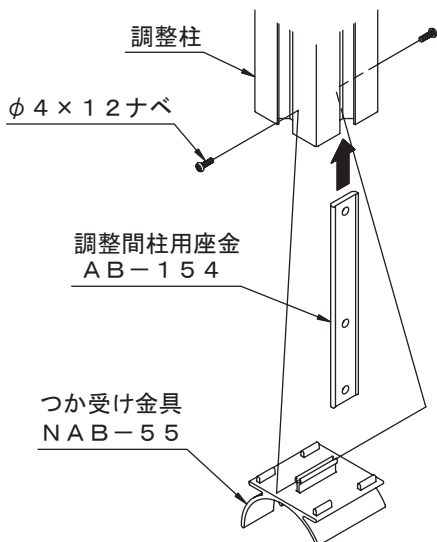


- 柱建て式 柱の組立 1～2と同様に妻梁（R・Lあり）を妻梁取付ブラケット（躯体側・柱側）にφ8×16ボルトで固定してください。

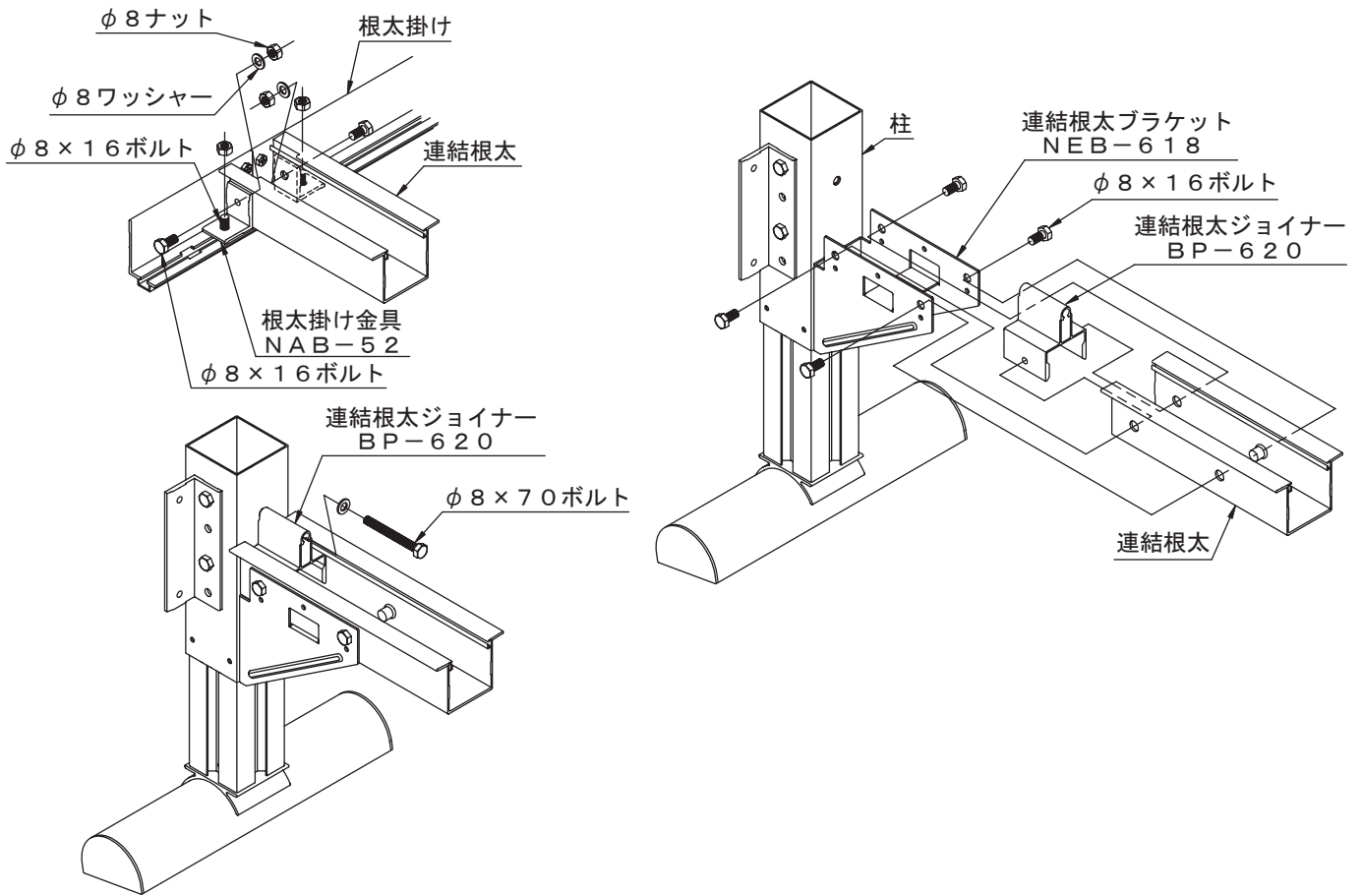


連棟の場合

- 調整柱に調整間柱用座金とつか受け金具を差し込み、つか受け金具と調整柱をφ4×12ナベで固定してください。調整間柱用座金にφ8×16ボルトで柱と連結根太ブラケットを仮止めしてください。つか受けにつか受け金具をM8ナットで仮止めしてください。

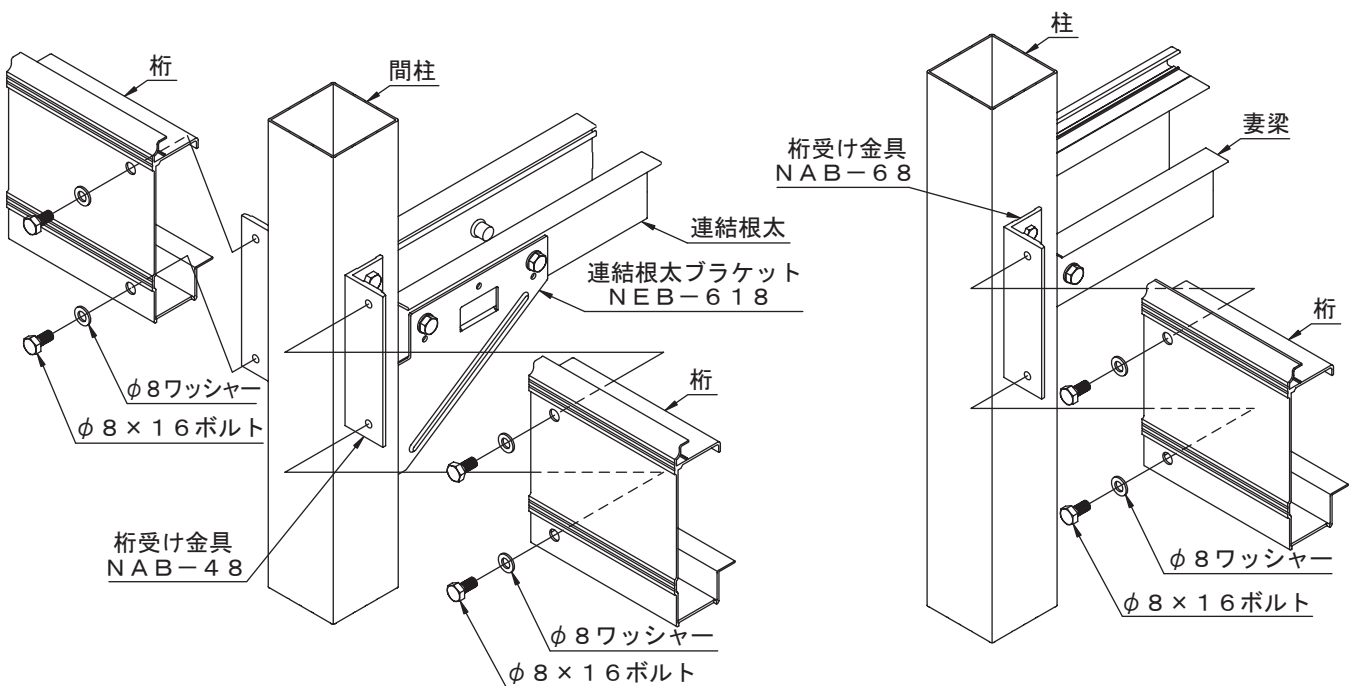


4. 柱建て式 柱の組立 3と同様に、連棟根太を根太掛け金具で根太掛けに固定してください。連結根太ジョイナーを連結根太に差し込み、連結根太と連結根太ブラケットを $\phi 8 \times 16$ ボルトで固定してください。連結根太ジョイナーを $\phi 8 \times 70$ ボルトで柱に固定してください。



④ 桁の取付

1. 桁をコーナー柱、間柱に $\phi 8 \times 16$ ボルトで固定してください。

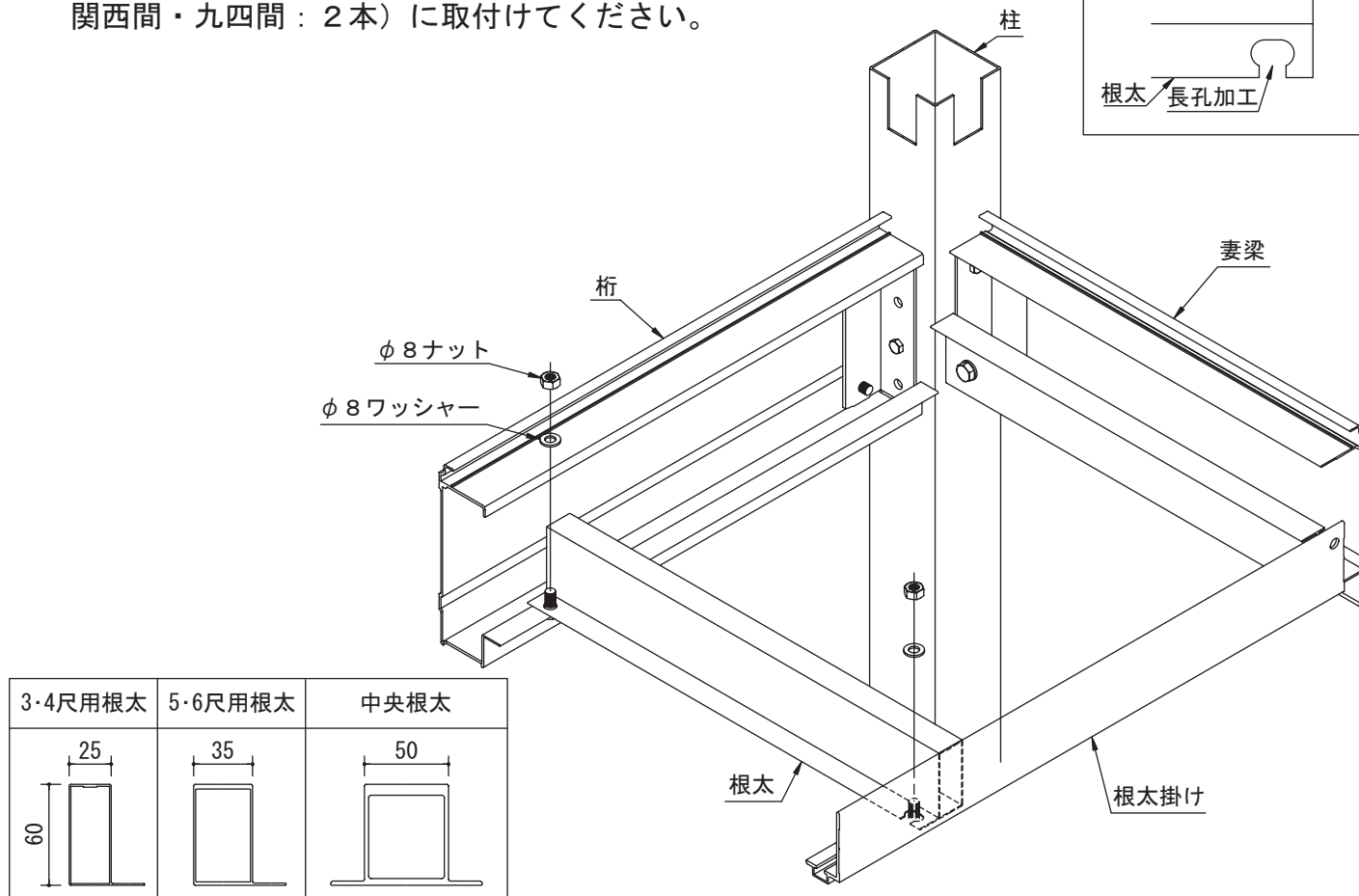


⑤ 根太の組立

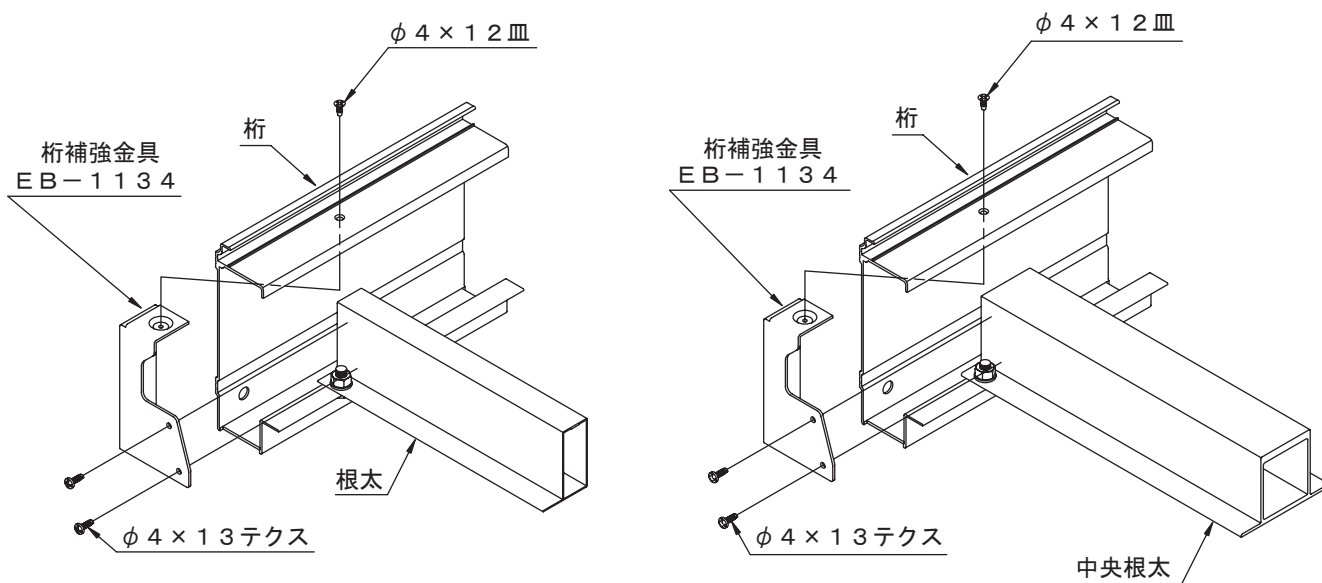
1. 根太を桁、根太掛けにφ8ボルト、φ8ナットで固定してください。

お願い

出幅が5・6尺の場合、中央根太を桁の中心（関東間：1本、
関西間・九四間：2本）に取付けてください。



2. 中央部の根太に桁補強金具（関東間：1ヶ、関西間・九四間：2本）に取付けてください。

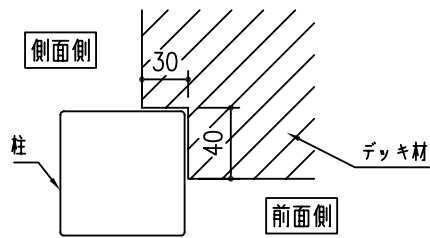


お願い

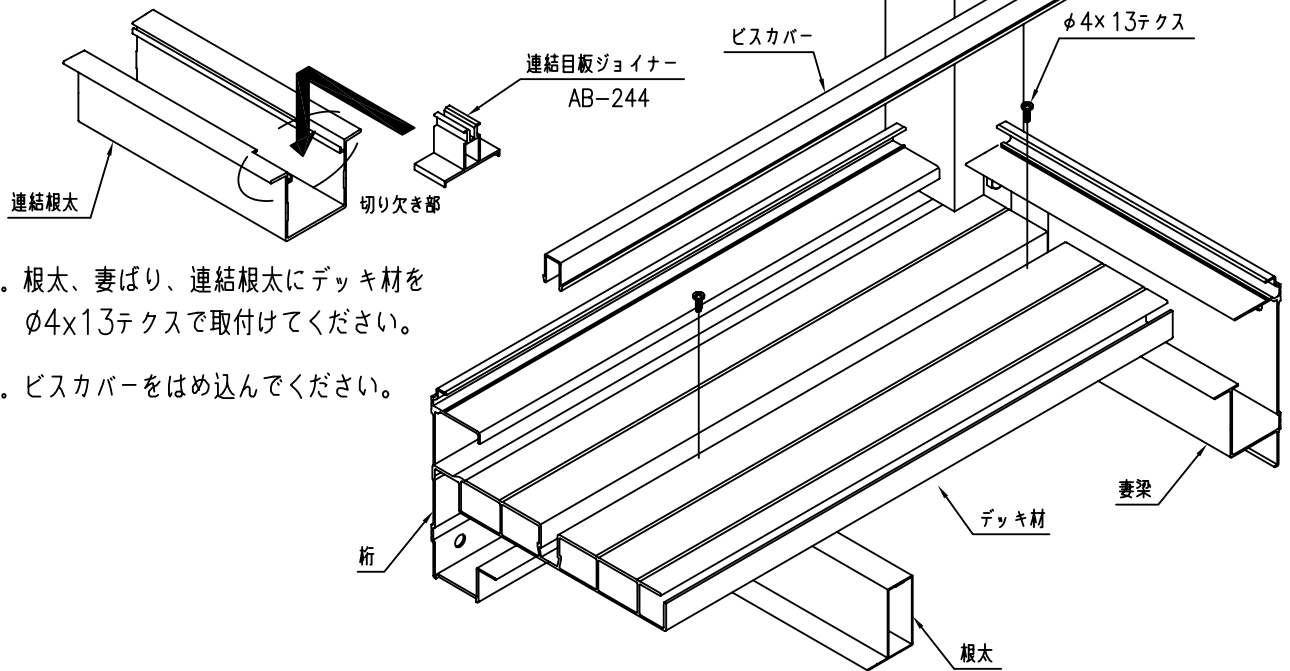
- ・桁補強金具は必ず取付けてください。
- ・下げふり、水準器などで桁、妻ばり、柱の水平、垂直を確認してください。

⑥ デッキ材の組立

1. 図の通りに前桁側のデッキ材を切り欠き加工してください。



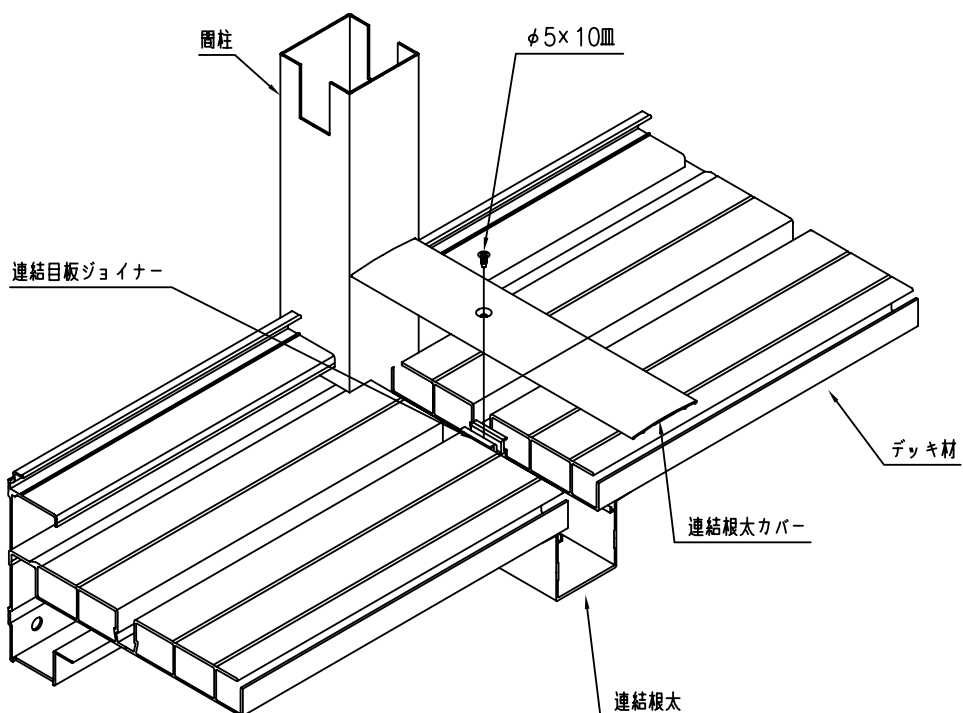
2. 連棟の場合は、連結目板ジョイナーを連結根太に躯体側の切り欠き部を使用して、差し込んでください。



3. 根太、妻ばり、連結根太にデッキ材をφ4×13テクスで取付けてください。

4. ビスカバーをはめ込んでください。

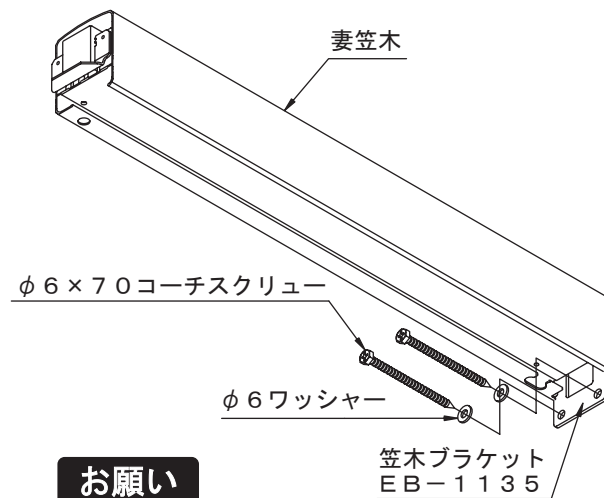
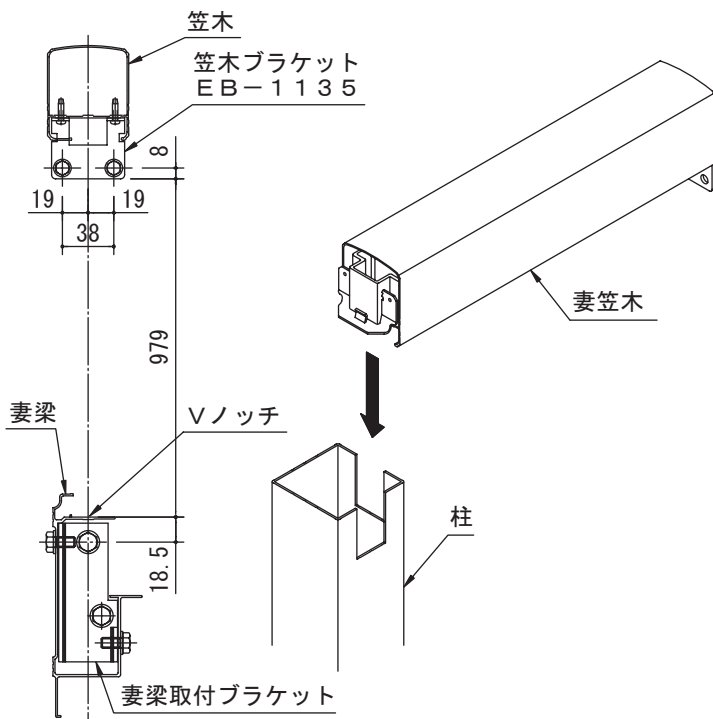
5. 連結目板ジョイナーに連結根太カバーをφ5×10皿で固定してください。



⑦ 笠木の取付

1. 左図に従い、妻笠木の位置出しを行ってください。
2. コーナー柱に妻笠木を差し込んでください。

3. 妻笠木の水平、垂直をみながら、笠木ブラケットをφ6×70コーチスクリューで固定してください。



お願い

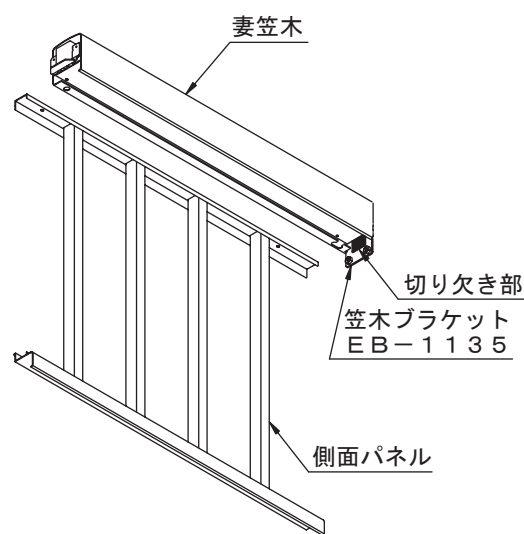
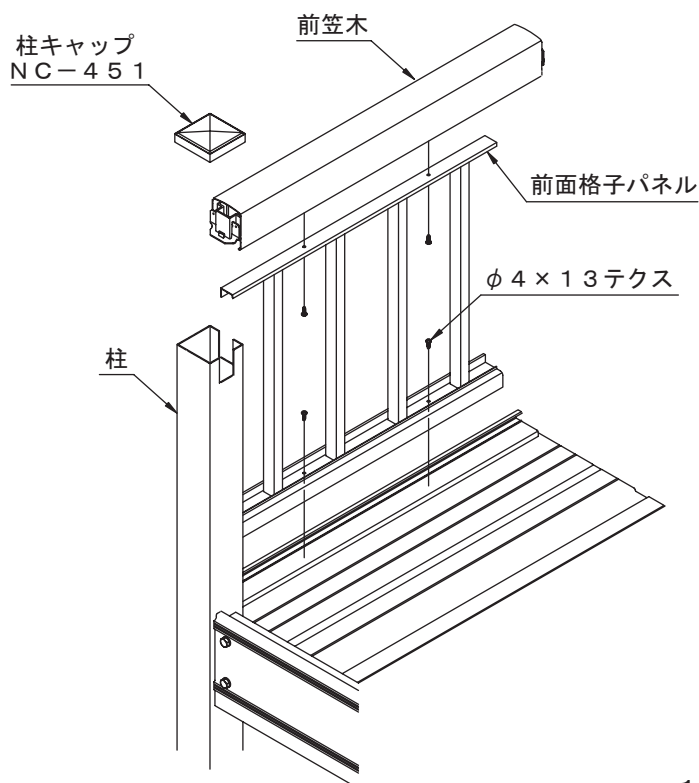
コーチスクリューの下孔はφ4.5以下であけてください。下孔にはシーリング材を充填してください。

4. 前笠木を妻笠木と同様にして柱に差し込んでください。

⑧ 格子パネルの取付

1. 格子パネルを笠木に差し込み、桁にはめてください。φ4×13テクスで固定してください。

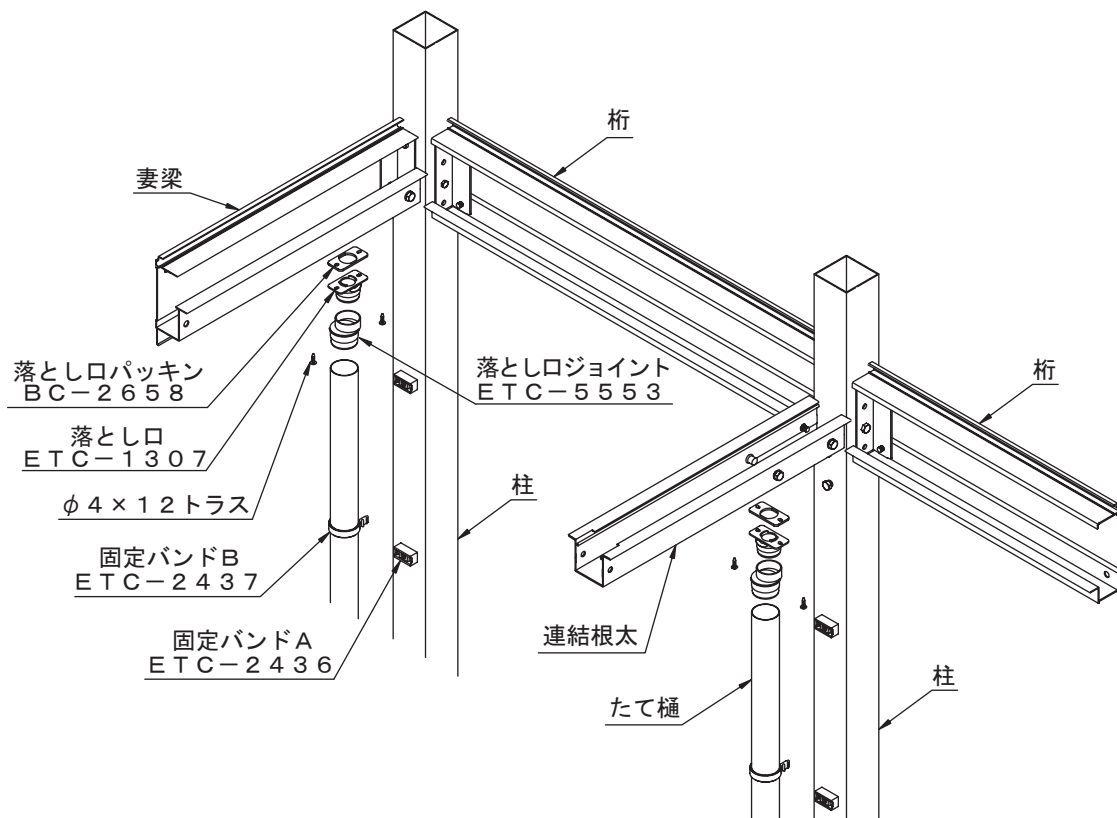
2. 側面パネルは妻笠木ブラケットの切り欠き部に差し込んで、妻ばりにはめ込んでください。φ4×13テクスで固定してください。



3. 柱キャップを柱にはめ込んでください。

⑨ 雨樋の取付

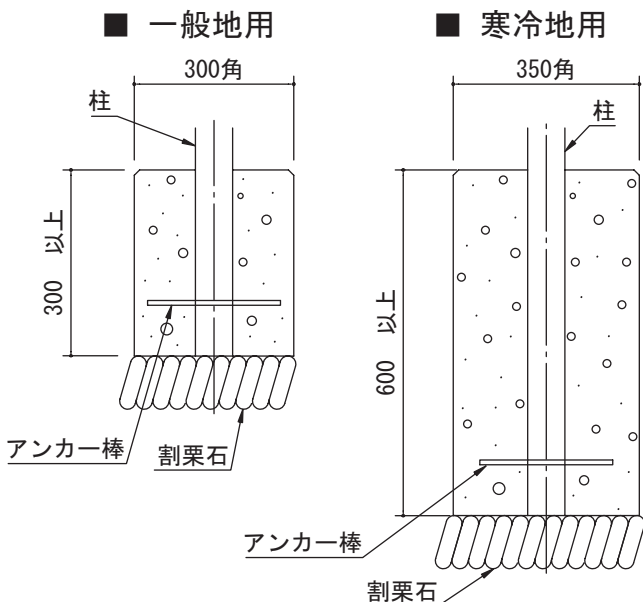
1. 雨樋を取り付けてください。



⑩ 柱の固定

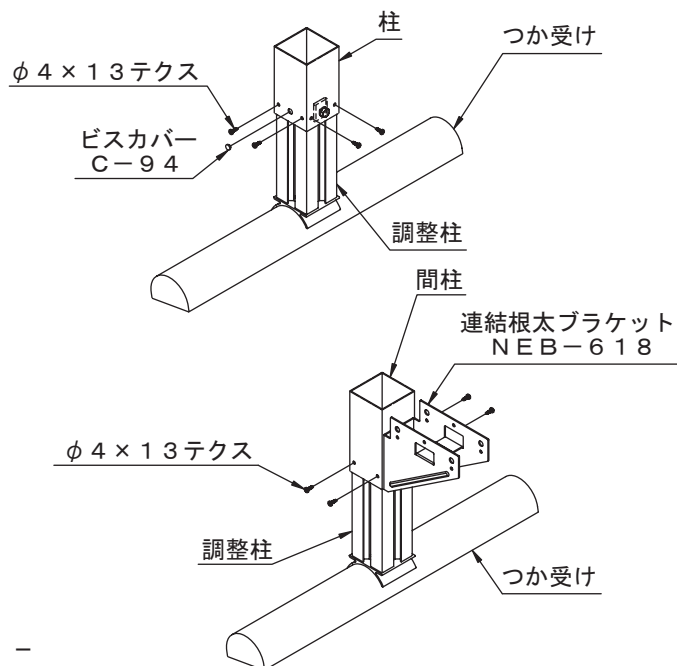
柱建て式

1. 柱にアンカー棒を差し込んでください。柱の垂直及び桁・妻梁の水平を確認してください。
2. 柱の下に割栗石を敷き詰め、コンクリートを流し込んで柱を固定してください。

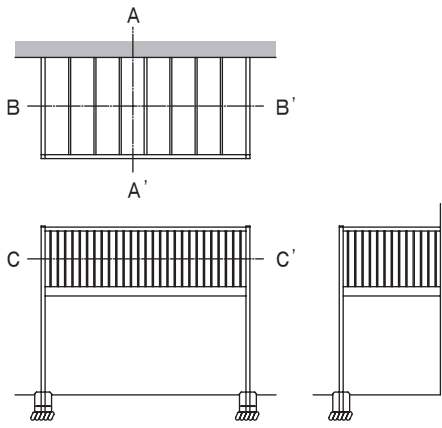


屋根置き式

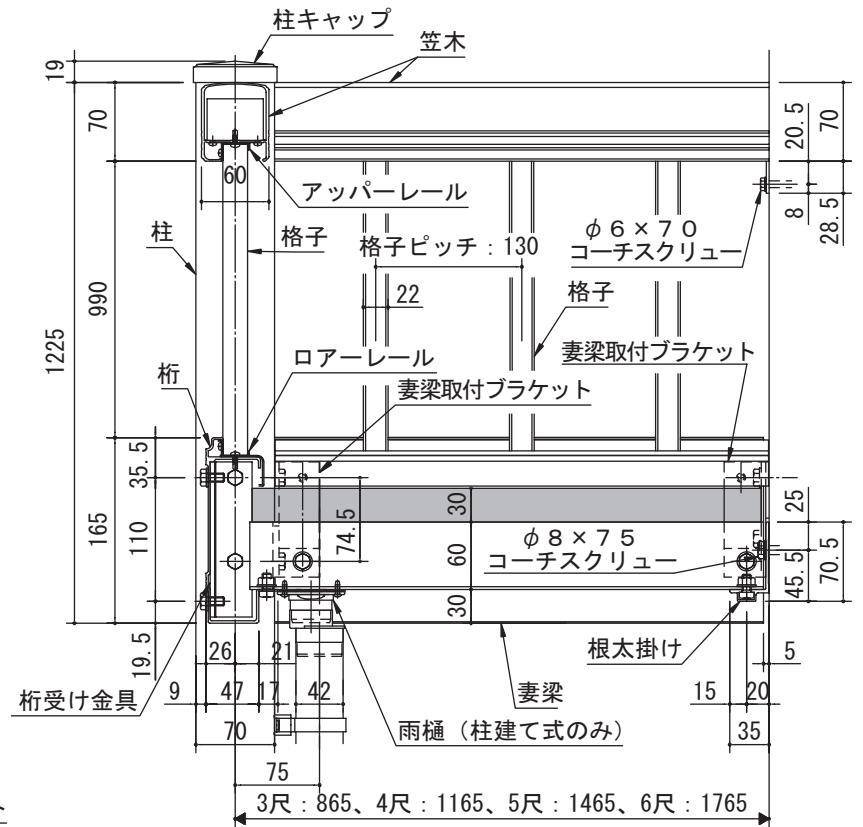
1. 柱の垂直及び桁・妻梁の水平を確認してください。
2. φ4×13テクスで柱と調整柱を固定し、その孔にビスカバーでふさいでください。



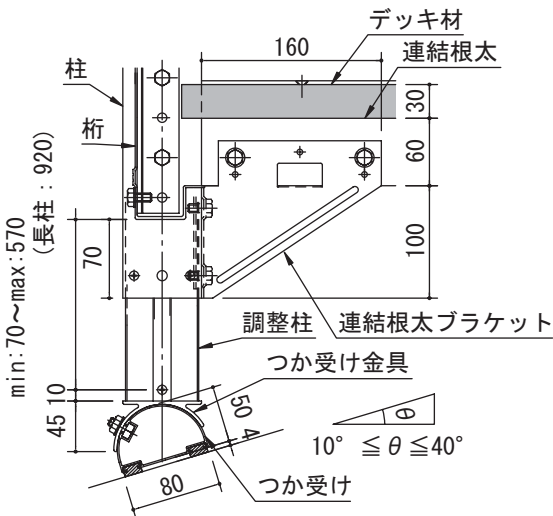
■ 納まり図 (S = 1/6)



■ A-A' 納まり図



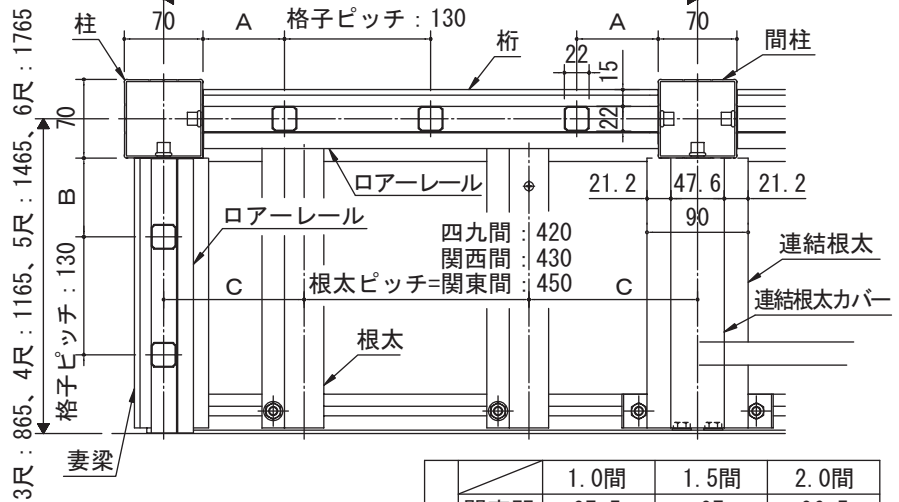
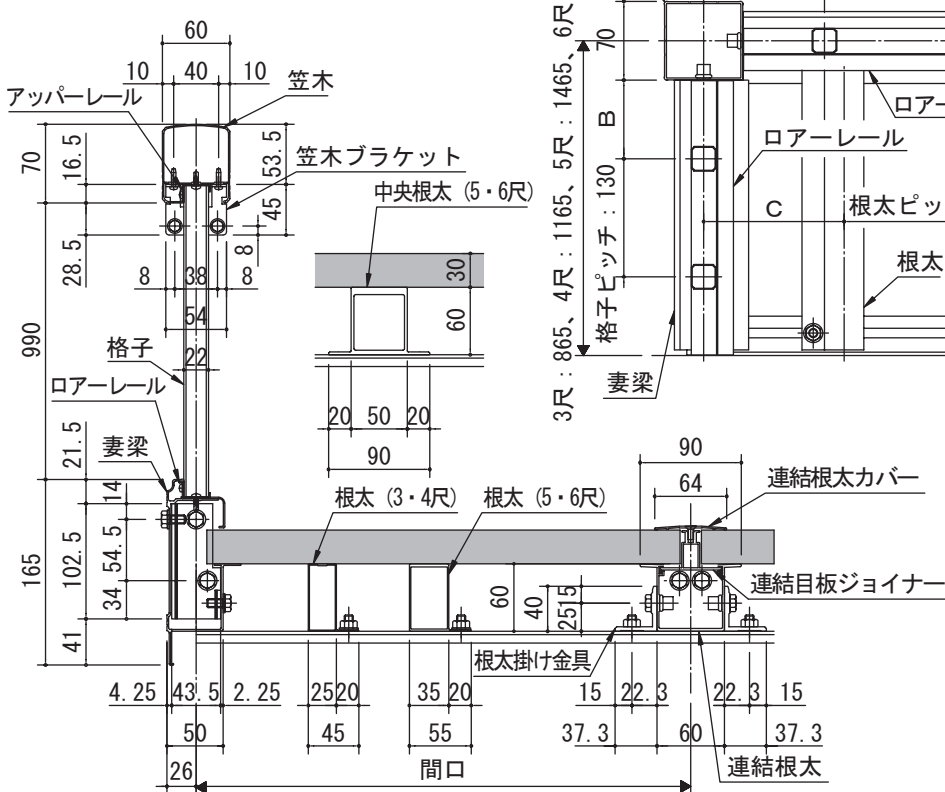
■ 屋根置き式柱 詳細図



■ C-C' 納まり図

四九間 1間: 1917, 1.5間: 2871, 2間: 3826
 関西間 1間: 2022, 1.5間: 2976, 2間: 3931
 関東間 1間: 1826, 1.5間: 2735, 2間: 3644

■ B-B' 納まり図



		1.0間	1.5間	2.0間	
A	関東間	97.5	97	96.5	
	関西間	65.5	87.5	110	
	九四間	78	100	57.5	
B	共通	3尺	4尺	5尺	6尺
		89.5	109.5	64.5	84.5
	C	1.0間	1.0間	1.5間	2.0間
		関東間	463	467.5	472
関西間		366	413	460.5	
	九四間	328.5	385.5	443	